

関連項目：教育活動プラン④

### 思いを伝え合うペア学年・縦割りグループ活動

#### 目的

本校の児童は、自分の考えをうまく表現したりコミュニケーションを取ったりする力に個人差が見られます。そこでペア学年や縦割りグループの活動の充実を図り、温かい人間関係を築く過程を大切にしながら相手の立場や考えを思いやる心と言葉を通して自分の思いを伝える力を育みたいと考えました。

#### 内容

- **全校縦割りグループによる活動【1年生を迎える会、チャレンジランキング、ふれあい遊び等】**
  - ・全校生をクラス単位で大きく二つのチーム（海チーム・陸チーム）に分け、その中をさらに14の小グループに分けて、ゲームを中心としたふれあい活動を行いました。
  - ・ゲームの企画や準備、当日の進行などは6年生が行い、活動後は、グループで振り返ったり教師からの評価をもらったりする中で、6年生は自己有用感ももてるよう、下級生はみんなの前で自分の感想を発表することで自信が高まるよう配慮しました。特に6年生にとっては、相手の立場に立った作業や行動が求められ、難しさや厳しさを感じながらも、下級生の喜ぶ顔に充実感や手応えを感じることで、価値ある体験となりました。また、運動会では、本年度初の「海・陸対抗応援合戦」が演技種目として加わり、6年生が考案した歌や言葉・動きなどを全校生で練習して力強く発表し、参観者からも好評を得ました。

【ふれあい遊び】



【応援合戦】



- **ペア学年での活動【プール開き、ふれあい給食、ペア読書、あいさつボランティア等】**

- ・1・6年、2・5年、3・4年がペアとなり、1対1の関わりを大切にしながら活動しました。活動が進むにつれ、自分のペアに対する友だち意識も強くなり、特別な行事の時以外にも声を掛け合ったり、一緒に遊んだりする姿が見られるようになりました。

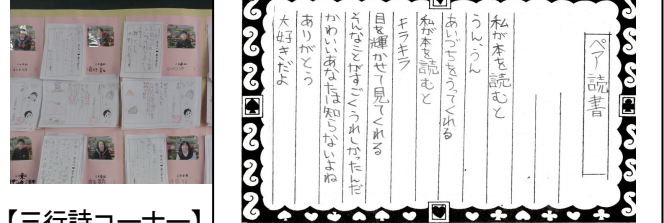
【ペア読書】



- **自分の思いを表現する三行詩の継続**

- ・楽しかった活動の思い出やうれしかった気持ちをふり返り、言葉や表現を大切に詩に表現し、年間を通して書いていきました。
- ・思いの込められた詩は、学校の掲示板や教室の中の常設コーナーに掲示し、お互いの感じ方のよさにも気づき合えるようにしました。

#### 心で感じて言葉で表そう



【三行詩コーナー】

#### 成果

こうした取組をすることで、子どもたちは少しずつ友だちのよいところを見つけ合えるようになってきました。体験活動では、一人一人の役割やねらいを明確にし、振り返りを大切にPDCAサイクルの積み重ねが重要です。本校では、各学期末に行う児童の意識調査で、「友だちのよいところを見つけられた」や「学校が楽しい」の質問項目において、ほとんどの学年で伸びが見られました。